

区が考える地域コミュニティが活性化している状態（イメージ）

地域コミュニティが活性化している状態（イメージ）

様々な地域活動への参加や日々の生活などを通じて、顔の見える繋がりがあり、近隣における支え合いができており、一人ひとりが地域の絆を感じる状態
必要に応じて地域でまとまることができ、いつでも区と連絡が取れるようになっている状態

地域コミュニティの現状

ライフスタイルや価値観の多様化など社会状況の変化を背景に、地域への関心や人と人とのつながりが希薄化し、地域での支え合いや信頼感を持って、自分たちの住む地域を自分たちで住みよくしようとする地域コミュニティの機能が低下している。

区が考える主な課題

- 1 地域コミュニティの担い手が不足し、特定の人に責任や負担が偏っている。その人たちは日々の任務に追われ、新たな課題への対応が困難になってきている。
- 2 町会・自治会の加入率が低下し、地域における加入者と非加入者との情報や意識の共有が難しくなっている。また、不測の事態に住民同士の支え合いや、区からの情報・支援が十分行き届かないことが危惧される。
- 3 地域活動への参加意欲があっても、身近に参加のきっかけとなる情報がなく、地域での人材発掘や人材活用がスムーズに進んでいない。
- 4 地域の課題を発見しても、相談できる人がいない、または、相談する人が限られていて全ての課題についての情報が区になかなか伝わらず、一部の課題については解決に時間がかかってしまう。
- 5 高齢者の孤独死や子どもの虐待など、かつては地域の繋がりの中で顕在化してこなかった課題が、社会問題化してきている。
- 6 団体同士の相互理解・連携が進まず、地域課題を地域の総合力で解決する活動に発展していない。

地域コミュニティを活性化するための方策

- 1 地域活動団体を支援する。
- 2 地域活動への入り口をつくり、人と人とのつながりづくりを進める。
- 3 地域活動団体のネットワークを形成する。
- 4 相談役、調整役となる人材を確保する。
- 5 地域活動を支援していくための拠点を整備する。